

Press Release

－お問い合わせ－

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



「市役所が消えた日」を忘れない。

熊本地震から10年、震災を知らない職員へ

市長が語る「不測の事態」への備え

～職員の4割が震災後入庁。当時の混乱と教訓を次世代へ継承する研修を開催～

宇土市では、熊本地震から10年という節目に、令和8年4月16日(木)、震災後に採用された職員を対象とした「大規模災害に備える人材育成研修」を開催いたします。元松茂樹市長自らが教壇に立ち、庁舎損壊という未曾有の事態の中で直面した混乱と、そこから得た教訓を直接語ります。

■ 実施概要

- ・日 時： 令和8年4月16日(木) 13:30～14:30
- ・場 所： 宇土市役所1階 会議室1
- ・講 師： 宇土市長 元松 茂樹
- ・対象者： 令和6年度～令和8年度採用職員(約60名)
- ・備 考： 当日は研修の様子テレビカメラの入構・撮影も可能です。

■ 背景と目的：薄れゆく「震災の記憶」への危機感

令和8年3月時点で、宇土市の全職員289人のうち、震災後に入庁した職員は112人と全体の約4割を占めています。震災当時、宇土市役所は本庁舎の4階・5階が大きく損壊し、行政機能の多くを一時喪失するという、全国でも稀に見る困難に直面しました。

「熊本で大地震は起きない」という根拠のない妄信が、当時は判断の遅れに繋がった側面もありました。震災対応の経験がない職員が増える中、当時の教訓を「記録」としてだけでなく、血の通った「経験」として継承し、次の大規模災害に備える強い心構えを養うことが本研修の急務となっています。

(2枚目あり)



報道関係者各位

2026年 4月15日
宇土市役所

Press Release

－お問い合わせ－

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



■ 講話の内容（ストーリーのポイント）：想定外の連続

市長の講話では、当時のスライド資料を用いながら、マニュアルが通用しなかった現場の真実を伝えます。

- ・「カギが取り出せない」：公用車のキーが損壊した5階に保管されていたため、物資の搬送に職員の私用車を動員せざるを得なかった状況。
- ・「通信の途絶」：庁舎内に立ち入れず、防災無線の放送や県からの緊急メール確認すら困難を極めたこと。
- ・「行政が被災者になる」：市役所そのものが使えなくなり、駐車場テントや体育館を転々とした2580日（約7年）に及ぶ新庁舎完成までの道のり。

これらの「想定外」の事態にどう立ち向かったのか。当時のリアルな体験談を通じ「災害時には行政も助けを必要とする側になり得る」という、公務員としての本質的な防災意識を説きます。

■ 本件に関するお問い合わせ先

宇土市役所 総務部 危機管理課（担当：谷川）

電話：0964-27-3304

